

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 椋野式番館

作成日: 令和7年4月7日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	運営推進会議を活かした取り組み	新型コロナ5類移行に伴ない、対面での開催が再開し、各委員とのコミュニケーションを取りながら、ホームの運営だけでなく、地域の課題にも一緒に取り組んでいけるような会議運営への準備を進めていく。	元家族や知見者、薬剤師、歯科衛生士、他グループホーム管理者等、委員の増員を図り、地域の課題やテーマを決めてミニ勉強会を行う等、内容の充実を図り、多様な意見や提案が集まる活発な会議運営に取り組んでいく。	12ヶ月
2	3	事業所の力を活かした地域貢献	コロナ状況を判断しながら、地域との協力関係を発展させるために、事業所の持つスキルやノウハウを地域に還元し、認知症やグループホームの啓発活動を行っていく。	運営推進会議の委員の協力を得て、介護相談事業や体験学習、ボランティアの受け入れ、地域との防災協力体制等、事業所の力を活かした地域貢献に積極的に取り組み、開かれたホームを目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。